

# きらきら体操 ③

2012

the 0123

アートチャイルドケア  
きらきら体操 2012年 3月

- ◎ **知育** からだを動かすことで  
大脳の動きが活発になる
- ◎ **体育** 運動能力が育つ
- ◎ **愛情** 触れ合うことで心の安定を図る
- ◎ **礼節** 礼儀作法が身に付く

## 年齢別目標

- 1歳児:自分の体を自分でコントロールする  
(いも虫ゴロゴロ)
- 2~3歳児:前回り・風せんどッチボール
- 4~6歳児:開脚跳び・ドッチボール



1歳児

ねらい:空間認知能力・操作系スキルの発達・協応性の向上

## 「ボール入ったよ」

ダンボール箱などを使って『ボールを目的の位置に入れる』運動です。

まずは近くから投げ入れてみましょう。うまく箱に入ったら一緒に喜び、自信につなげてあげてください。また入らなかったときも「おしかったね」「後少し!」と声掛けを行なうことで、次へのやる気にもつながっていきます。



## ★ステップUP★



ボールを入れる箱を徐々に遠くへ離してみたり、高さを変えてみたりと、変化をつけて行なってみましょう。

2~6歳児

ねらい:協応性、操作系、移動系運動スキルの育成、空間認知能力の向上

## 「風せんどッチボール」

風せんボールを使って簡単なドッチボールを行ないます。\*風せんボールの作り方は2011年10月号を参照  
まずは風せんボールに当たらないように『逃げるゲーム』からはじめましょう。



### ルール説明

#### ① 風せんボールを別のものに見立てて逃げよう。

例えば「これは爆弾です。身体に当たったり、手に触れたりしても爆発します。当たらないように逃げてみましょう。」「落ちた風せんボールはお友達に当ててもいいですよ。」

#### ② 風せんボールに当たったら、別の場所に移動しよう。

例えば、マットなどを使って当たった子ども用のスペースを作ります。「当たったらマットの上に座って待ちましょう。」「最後まで当たらずに逃げられた人の勝ちです。」

#### ③ 箱ドッチボールをしてみよう。

例えば、赤色のビニールテープでドッチボール用の囲みの線を引きます。「赤い線の中だけで逃げてね。」「風せんボールをキャッチしてもいいですよ。但し、当たったら赤い線から出ましょう。」「最後まで線の中に残った人の勝ちです。」



## ★安全チェック★

2、3歳児はまだ自分の周囲をうまく認識できません。ぶつかって怪我につながらないように、気をつけて行なってください。また子ども達の状態をみながら、無理なく楽しめるようにすすめましょう。

## ★楽しさUP★

はじめは『逃げることに慣れる』のが大切。鬼ごっこを取り入れながら、逃げることの楽しさを教えてあげましょう。

## 4~6歳児 Let's チャレンジ編

①②③が出来る様になれば『2つのチームに分かれて』ドッチボールを行ってみましょう。  
※まずは『箱ドッチボール』が出来るようになるといいですね。

the 0123

アートチャイルドケア

本社:大阪府大東市泉町 2-14-11  
東京本社:東京都品川区東品川 1-3-10-3F

the 0123 ART GROUP

※掲載の情報は2012年3月現在のものです。©March 2012 Art Group